

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
在宅ケア方法論 (在宅ケアマネジメントと訪問看護)	2年次 後期	必修	講義	1単位(30時間)	野上 聡子
授 業 概 要					
療養者とその家族が地域で療養生活をおくるための在宅ケアマネジメントの概念、方法、連携の必要性を学ぶ。また、在宅ケアを支える制度や社会資源を理解し、在宅看護の展開方法である在宅看護過程とともに、在宅ケア提供時のマナーや看護職の基本的態度を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 在宅ケアマネジメントの概念、関係職種との連携を理解し、在宅ケアを支える制度や社会資源について説明する。 2. 訪問看護制度の概要を説明する。 3. 訪問看護ステーションの役割について説明する。 4. 在宅看護過程の一連の流れを説明する。 5. 在宅看護に必要な看護職のマナーと基本的態度について説明する。					
実務経験のある教員					
川部 弘子、峯嶋 直美：訪問看護師としての経験をふまえ、在宅ケアマネジメントと訪問看護について教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-2	1. 在宅ケアマネジメント 1) 在宅ケアマネジメントの概念 2) 在宅ケアマネジメントと看護職の役割 3) 在宅ケアにおける社会資源				野上 聡子 峯嶋 直美 ※ 川部 弘子 ※
3-5	2. 訪問看護 1) 訪問看護実施機関 2) 訪問看護に関わる法令・制度・社会資源 3) 訪問看護ステーションの役割 4) 訪問看護ステーションの管理・運営 5) 訪問時のマナーと看護職の基本的態度				
6-15	3. 在宅看護過程 1) 在宅看護過程とは 2) 訪問看護における在宅看護過程の展開				
学 習 方 法					
講義 個人ワーク グループワーク					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験 レポート 課題の成果物					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 秋山 正子 他 著 医学書院					